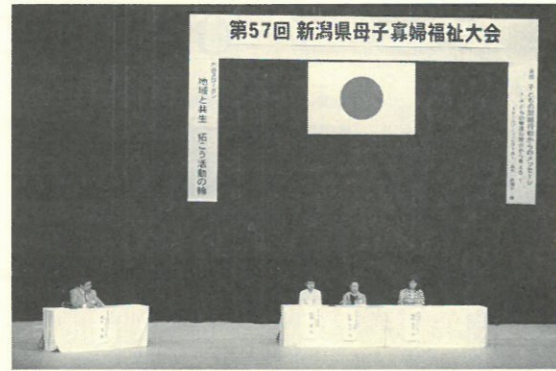


第57回 新潟県母子寡婦福祉大会開催

平成27年7月5日（日）見附市文化ホール「アルカディア」で第57回新潟県母子寡婦福祉大会を開催いたしました。

シンポジウムでの発表、感想、アトラクションなどを、紹介いたします。



シンポジウム

コーディネーター 青木 茂 様
(新潟医療福祉大学社会福祉学部准教授)

看護師を目指して奮闘中

柏崎市 S.A

柏崎市在住、35歳、ひとり親になって2年半、今は両親と4歳の息子で暮らしています。

離婚を機に、東京から実家のある柏崎に戻ってきました。安定した収入を得るため、看護師を目指すことに決めました。市内に看護学校があり、その学校に奨学金制度があること、息子が保育園に入ることができたことが決め手でした。転入時に市役所の福祉課で、母子家庭高等職業訓練促進給付金の援助のことも知りました。

受験を決めてから、週に2回学習塾に通い、後は自己学習を行うという形で勉強を進めました。学習塾に通うことは経済的に負担でしたが「合格しなければいけない」という気持ちを持続させるための必要経費と考えました。

学習中も合格できるのか不安になりましたが塾の先生の励ましに背中を押してもらい、幸い試験に合格し、昨年の4月から看護学校に通い看護師国家試験の合格を目指し頑張っています。

感謝の日々

魚沼市 O.M

昭和62年10月、秋晴れの夕方、農作業中、夫は機械の下になり即死してしまっただけです。夫44歳、私40歳でした。

死亡して直ぐに、今後の方向を決めてほしいと酪農協会の組合長さんから連絡があり、あわただしい中で決断を迫られ、70頭の牛はあっという間に牛舎を後にしました。私は泣く暇もなく次から次へと対応することが多く、大黒柱を失ったことを全身で受け止めました。こんな私のところに、母子会から加入の呼びかけがあり、早速、仲間に入れていただき、先輩の方々から励まされ、勇気が湧いてきました。農協に再就職し、家で農業をやりつつ、昨年65歳まで勤務しました。4人の子も達を育てるために、無利子のお金、県、村の奨学金、あしなが育英会と利用し昨年すべての償還が終わりました。これからも支えていただいた大勢の皆さんのことを忘れず感謝の心を繋げていきたいと思っています。

ひとり親家庭の交流と連携について

新潟市 T.S

私がひとり親になって、最初に戸惑ったのが役所関係の手続きで、役所の中をタライ回しにされて一日が終わり、時給で生活している者にとっては、給料が減らされ生活に響きます。

近年、離婚やシングルマザーのひとり親世帯が多くなってきています。これだけ情報があふれているのに、その情報が届かなく社会的にも地域的にも孤立して相談する人も少なくありません。私はひとり親になって2年目に知人の口コミで相談、交流、体験できる会を知り、自分の居場所が見つかったような気持ちになりました。

県内各地の母子会も高齢化と母子さんの入会者がなく、このままだと衰退の一途をたどるのでないかと懸念しています。福祉の狭間にいるひとり親家庭の人たちが大勢います。ぜひ福祉関係機関、団体のお力添えをお願いします。

最後に、一日も早くひとり親家庭の皆さんが希望を持って、自立した生活ができる社会が実現することを切に願っています。

県大会に参加して

柏崎市 E.N

私は会員である以上、県大会は出席義務があると思いき、出来る限り参加しています。

地域を代表した3人のパネリストの体験談は、苦勞を乗り越えた自信と誇り、そして明るい未来が感じられました。私も現状が厳しくても甘えることなく向上心と前向きな気持ちを持ち続けたいと思います。

ア
ト
ラ
ク
シ
ヨ
ン



見附市立新潟小学校 小栗山獅子舞クラブ

ご報告 親子キャンプ

生活自立支援キャンプin 国立妙高青少年自然の家

平成27年7月18日(土)～19日(日)

妙高市で
親子キャンプを
開催しました。



～親子キャンプに参加して～ 柏崎市 T.N

7月18日・19日親子で国立妙高青少年自然の家に1泊旅行に参加させていただきました。

宿で地元の方より笹すし作りを教えていただき、子どもと一生懸命に力を合わせて笹すし作りに挑戦しました。香りのよい笹にご飯を乗せ、その上に様々な具を乗せ、目でも舌でも楽しませて貰いました。いつもは好き嫌いと言って、なかなか食べない子どもですが、自分で作ったことで、残すことなく完食したことに驚きました。

県内各地からの参加者の皆さんと会話をする事が出来て、とても楽しい一泊旅行となりました。ありがとうございました。



お知らせ

体験しよう！雪遊び

生活自立支援キャンプin国立妙高青少年自然の家

(独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家の主催で、困難な環境にある子どもたちを対象に規則正しい生活習慣や自立する力を身につけるために実施されます。)

平成28年3月5日(土)～6日(日)

【プログラム】

雪上運動会・アルペンスキー体験 他

たくさんの皆さんの参加を、お待ちしております！

第69回 関東地区母子寡婦福祉研修大会

平成27年9月27日（日）ホテルアソシア静岡を会場に行われました。

中野会長、岩村副会長、相澤副会長、櫻井事務局長他12名の役員、会員が出席、新潟市の三浦聖子さん（理事）が、シンポジウムで発表を行いました。ご紹介いたします。



自分で選んだ道に行く

ひとり親になって20年、夫の借金によって養育費はなく、家のローンも自分が払うことで離婚。三人の子どもを3つの仕事を掛け持ちしながら育てました。

ひとり親の知人から、母子連を教してもらい入会、ひとり親で悩んでいる人に情報を届ける為、市の福祉資金を借りて「カフェひだまり」を開業、

ひとり親同士の情報、仲間作りの場を作りました。現在は開業から10年以上が経ち「Yumeスペースひだまり」として進化しコーチングを使ったセミナーや講演会を開催、女性の心の応援をしています。20年前、途方に暮れていた私ですが、母子連との出会いによって情報、仲間、あきらめない心を手に入れる事が出来ました。